平成29年度　IBBP マウス凍結精子作製の仕様書企画案

|  |  |
| --- | --- |
| 応募者氏名 |  |
| 所属機関名 |  |
| 所属部門・研究室名 |  |
| 所属機関住所 | 〒 |
| 連絡先 | TEL |  |
| E-mail |  |

|  |
| --- |
| 1. 利用者からのSPFマウス（遺伝子組換え系統を含む）の運搬システムの概要
 |
|  |
| 1. 運搬されたマウスからの精子採取と凍結精子サンプルの作製の概要
 |
|  |
| 1. 凍結精子の一時保管システムの概要
 |
|  |
| 1. 凍結精子のIBBPセンターへの運搬の概要
 |
|  |
| 1. IBBPセンターとの連携の概要
 |
|  |
| 1. その他のアピール事項
 |
|  |

マウス凍結精子作製の仕様書企画案作成の注意事項

1から５までの事項について、下記の評価項目を参考にして実施可能な具体的な内容の記載をお願いします。それぞれの項目を20点満点で評価し、合計点が最高得点者の企画案を採択し、業務の委託を行います。

1. 利用者からの SPF マウス（遺伝子組換え系統を含む）の運搬システムの概要

マウス（精巣上体）運搬時には利用者にマニュアル等で適切なアドバイスを与え、遺伝子組換え体を含むマウスの場合は組換え DNA 実験計画の申請など凍結精子作製に必要な諸手続を応募者機関で速やかに実施可能なこと。また凍結精子作製までの間、搬入したマウスを維持できる飼育システムを保持あるいは運搬後すぐに凍結精子作製が行える体制が整備されていること。以上の内容を実施可能な体制、またマウス凍結精子作製に伴う必要な応募者機関での諸手続きの概要について記載してください。

1. 運搬されたマウスからの精子採取と凍結精子サンプルの作製

マウス或いは精巣上体からの精子採取から凍結精子作製までの過程を、同一機関で一連の作業として実施可能であり、凍結精子作製時の精子の状態（運動性・生存率・濃度）を報告可能であること。以上について実施可能な体制を保有していることが分かるように記載してください。

1. 凍結精子の一時保管システム

作製した凍結精子を一時的に保管することができる液体窒素保存システムを有すること。またIBBPセンターで使用しているストロー用カセット等を用いた保管が可能であること。以上について実施可能な保有機器類等について記載してください。

1. 凍結精子のIBBPセンターへの運搬

作製した凍結精子をIBBPセンターに安全に輸送するための方法を有し、IBBPセンターと連携して輸送手続きを進めるなどの協力ができること。以上を実施可能な輸送についての概要を記載してください。

1. IBBPセンターとの連携

利用者からのマウス凍結精子作製のため委託機関への申請に必要な書類はIBBPへの保管委託申請と同じ（申請書、遺伝子組換え生物等情報提供書、SPF証明書等）フォーマットを利用するなど、書類作成のサポートを含めたIBBPとの連携が可能であること。IBBPセンターとの連携が可能な内容と実施体制について記載してください。